

# 2016年10月6日 (財) 地域活性化センター 全国地域リーダー養成塾 説得から納得の政策形成へ～図解思考のすすめ～

箇条書きが良いと思っていたので、図にしてそれぞれの関係を明らかにするという手法は、目からウロコでした。

文章社会の市役所に慣れていた自分にとって、例えば箇条書きが全体理解に向いていないという指摘にはとても驚いた。

自分の位置から出発するという発想が今まで無かったです。必ず活用したいと思います。

卒論を書く際に、一図で示せるように考えなさいと言われていました。非常に勉強になりました。

事前にHPを見て、少し勉強してきてから、この講義を受けました。図でプレゼンすることが、一番効果的だと思います。自分の子供に伝える気持ちでやると、結構書きやすくなると感じました。

私も文章をよく直されるのを嫌だと思って、国と町で仕事していました。先生の話聞いて初めてその嫌な感じの理由が分かりました。説明する時、頭に図を浮かべると上手くいったことがありました。その理由も分かりました。図を作って、自分の頭で考えて行こうと思いました。

箇条書きに頼っていた部分があるが、今後は図を活用していきたいと思います。

文章で書いたものは、理解する側(受け手)の人数が多ければ多い程、捉え方が違うということが分かりました。職場に戻った後は、図解にチャレンジしていきたいと思いました。

3時間という短い時間でしたが、もう少しゆっくりとお話をお聞きしたかったです。今回の御縁をきっかけに情報提供などをさせていただければと思います。

関係性について考え直す良い機会になった。全体の構造や部分と部分の関係を作り上げていく作業は、楽しく感じた。

頭の中が整理させるのを実感しました。住民への説明や庁内での説明に、利用機会は多いと思います。

自ら図を作成することは、頭を使うということを実感した。県や国のコピーであることも多かったように思います。

職場において活用していきたい、マスターできるようにしたいです。自分なりに身の回りから作ってみたくなりました。

新たな武器を手に入れた感じがする。見て聞いて実践して分かりやすかった。

タイムマネジメント=能力以上の仕事を引き受ける、ということが成る程と思いました。

これまでも図を使って表現することがありましたが、自己流のニセモノであったと感じました。“色”を使って区別していましたが、それはごまかしだということで、大変学びが多かったです。他の人の図と全く異なっていたことも印象的でした。日本人が得意ということも面白いと思いました。

文章では、物事の関係性や問題の大小が分からないという理論に納得しました。やってみると難しく技術が必要だと感じました。

図解の威力の大きさを教えていただきました。図で示すクセ付けをして、いざというときに同意を得られるようにしたいと思います。

考える事で「気づき」が生まれる気がした。考え抜くことで、物事が充実したものになると体感できた。

図解は共通言語になるというのは素晴らしいことだと思った。

実践の時間があつたのは有り難いです。

これからは図解を使用していきたいと思います。

今日から実践します。

「図を書くポイント」について、もう少しご指導いただけると良かったです。「図で表す」重要性について理解できたことは、非常に為になりました。

図解の方が分かりやすいことが分かり、とても良い時間でした。次回ゼミ課題がレポートテーマを図で示すことなので、今回の研修を生かして取り組みたいと思います。

終了レポートの考えを図解を使ってまとめたい。研修生同士で発表し合うと、図解が全く違うことが面白く、気づきになりました。

段々書き進められるようになるのが実感できました。

図を実際に作ることで理解が深まるということが実際に取り組んでみてよく分かりました。

世界言語と言えらると思う。発達障害のある子に事務を教えているのだが、図や挿絵を入れると理解度が増した。図が様々な場面でコミュニケーションツールとして使えるよう工夫を重ねたい。

相手に納得いただくことの重要性、そのために「図解」を用いることの有効性に気付きました。人事異動の際の引継書に「図解」を用いる点は是非行っていきたい。

文章でトラブルになった原因が分かりました。図解による説明や相関を意識した説明や図解を心がけていきたいです。